



# さかえ

令和4年  
2月号  
第459号

発行/栄村役場



## 除雪作業員による道路除雪

12月中旬には、ほとんど無かった雪も、1月26日現在森観測所では175cmとなりました。

昨年同日より25cm多くなり、栄村らしい景色となりました。

道路が安全に通行できるよう、除雪いただいていることに改めて感謝いたします。

## 主な内容

- 新型コロナワクチン接種等について……P 2-3
- 納税申告相談会の開催について……P 4-5
- 栄村奨学金制度のご案内……P 6
- 各種お知らせ……P 9-10
- 議会報(第201号)……P 14-23













はいこんちよ

# 地域包括支援センターです

こんにちは。栄村地域包括支援センターは、民生課内に設置され、主に65歳以上の方の身体の状態や生活の心配ごとの相談に応じています。

## 緊急通報装置を知っていますか？

この装置は、日常生活・体調等に関する相談、火事や救急要請等の緊急時に使用します。「相談」「緊急」のボタンを押すとオペレーターに繋がり、相談や協力員の駆け付け・救急要請ができます。

地域包括支援センターでは、生活されている中での困り感やお体の状態などお聞きし、設置の必要性を考え、ご提案しています。

### だから安心！

- 特長① 困ったときや緊急のときに必ず誰かにつながる
- 特長② 月に1回オペレーターが体調確認のお電話
- 特長③ ボタンが押せない状況でも大丈夫、人感センサーで異常を検知

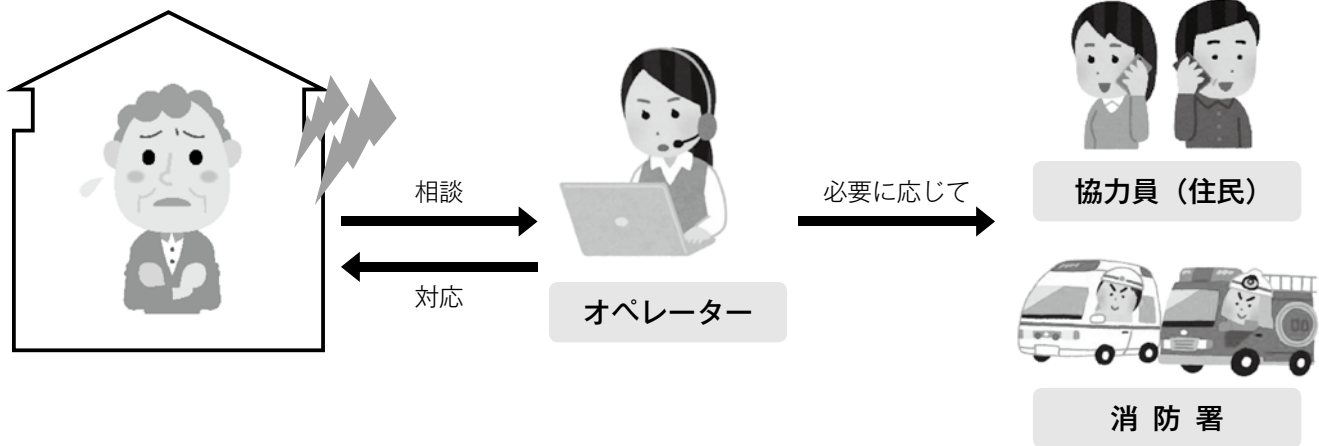
栄村で行っている緊急通報装置の大きな特長は、地域住民の皆さんに「協力員」として協力いただき、異常時にはオペレーターからの要請で駆け付けていただけることです。生活に不安のある方を地域の中で支え合うことを補助するため緊急通報装置は設置されています。

地域包括支援センターでは、「住み慣れた場所で安心して暮らせるように誰一人として取り残されることのない地域」を目指し、地域住民の支え合いによる見守りを大切に取り組んでいます。

設置の相談はもちろん、日々の生活での困り感などがありましたら、地域包括支援センターにご相談ください。一緒に考えていきましょう！

### 通報イメージ

協力員の相談がありましたらご協力をお願いします。



そうだ！  
包括に言ってみよう！ 栄村地域包括支援センター 電話：0269-87-3301







# 秋山協力隊通信

Vol.68

こんにちは。秋山地域おこし協力隊の木村です。少し遅い挨拶ですが、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

早いもので2年目の冬が到来しました。私の地元は真冬でも日中は10℃前後のため習慣として、去年は氷点下で外に洗濯物を干してしまいました。凍ってカチカチになったパーカーを見て一人で爆笑しました。また、玄関先に落とし物をして、雪上を必死に探したりと一人で雪と格闘していました。今のところ雪のトラブルはありませんので、少しは慣れてきたのかなと思います。

さて、ここからは12月、1月の活動を振り返っていききたいと思います。

まず、クロモジアロマ商品について、芳香蒸留水と精油が栄村のふるさと納税返礼品に追加されました。

ふるさと納税とは、応援したい自治体に寄付ができる制度で、寄付をすると、寄付先の自治体から返礼品がもらえる仕組みです。栄村では現在、お米、トマトジュース、美雪和牛などの魅力的な返礼品が登録されています。

アロマ関連商品の返礼品は全国的に見ても珍しく、他の類似商品より安価なため、ある程度の注文が入ると見込んでいます。当商品が栄村への寄付金額、件数増加の手助けになれば幸いです。

続いて、ジェラート製造についてです。現在、道の駅やスキー場などで山菜を使ったジェラートが販売されていますが、味が1種類しかないのが課題となっています。消費者側としては、味が複数あれば選ぶ楽しみがあり、購買意欲も高まると思われまます。

この課題を克服するため、12月、1月は栄村の特産品を使った新しい味の開発をしております。今年の4月前後には新しい味を発表できると思いますのでご期待下さい。

以上が12月、1月の活動報告になります。引き続き、特産品開発を中心に活動を行っていききたいと思えます。

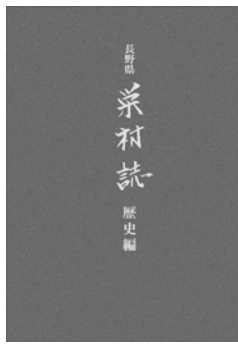
2月に入りまだ寒い日が続くと思えます。村民の皆様、余寒なお去りがたき折、お体にお気をつけてお過ごしください。

(地域おこし協力隊 木村 優)

## 村誌編纂室から

58

栄村誌発刊・各戸配付開始



栄村誌 歴史編



栄村誌 自然編

平成29年から約5カ年を要して、令和4年2月1日に『長野県栄村誌歴史編』、『長野県栄村誌自然編』を発刊しました。歴史編は704頁、自然編は217頁となりました。

2月中に村職員が各戸を訪問し歴史編・自然編の1セットを無償配付します。

古文書目録(冊子)の作成

村誌の執筆に際しては、編纂室

に運び込まれた大量の古文書を活用させていただきました。江戸時代や明治時代などに作成されたこれらの古文書は、村民の皆様から村誌編纂のために提供していただいたものです。

編纂室の古文書は、暫定的な仮目録はできていますが、あらためてきちんと見直して、活用しやすい目録(仮称 栄村内所在古文書目録)に仕上げる予定です。古文書は村の宝として末永く大切にしたいものです。

また、村民の皆様や村外の研究者にも活用していただけたよう、閲覧方法も検討したいと考えています。

公開開始は今年の秋ごろを予定しています。

この「村誌編纂室から」は、平成29年5月号から広報さかえに連載してまいりましたが、今回が最終回となります。ご愛読いただき、ありがとうございます。

【問合せ先】

栄村誌編纂室

0269-87-3118





